

臨海鉄道大洗鹿島線水戸駅⇄鹿島サッカースタジアム駅区間▽榊明治

「東京オートサロン」に出展 業者懇親会を13日に開催

日本カーラッピング協会が今年誕生

国内のカーラッピング業界の発展と市場拡大を目的にした任意団体「日本カーラッピング協会」が、2017年に誕生する。

この協会は、「車両を、装飾及び機能を保全・向上させる目的のカーラッピングの普及、会員の施工技術を高め、市場拡大と経済的発展に資するものとし、健全なコミュニケーション手段としてのカーラッピングの普及を通じて、よりよい社会生活へ貢献すること」を目的にしたもの。

主な事業内容は、カーラッピングの普及活動及び施工技術などに関する業務とそれに付帯または関連する業務―など。ペイントプロテクションフィルム、カーラッピング、ウインドプロテクションフィルムの3つの部会が構成する。

12月13日に都内で協会準備委員会が行われ、初代会長（代表理事）に榊

「きのこの山」きのこの山びこ「新宿駅東口広場

デザインラボ（本社岐阜）の刈谷伊社長が就任した。

同協会では、13日（金）から15日（日）まで千葉・幕張メッセで行われる「東京オートサロン2017」にブースを出展するとともに、『第3回カーラッピング業者懇親会』を13日午後7時半からホテルニューオータニ幕張（1階のザ・ラウンジ）で開催する。

これは、カーラッピングフィルムメーカーやペイントプロテクションフィルム、カーラッピング、ウインドプロテクションフィルムの施工会社など、カーラッピング関係者の更なる交流の場と位置付けたもの。会費は一人6000円（税別）。9日月まで参加者を募っている。

刈谷会長は、「東京オートサロン」での協会ブースは、協賛会社による車両

ラッピングの施工実演を行うので、ぜひ会場頂きたい。オートサロン、懇親会の両会場で協会への入会募集も行いたい」と話す。

【問い合わせ】日本カーラッピング協会事務局（03・5420・5420）

東京オートサロン13、15日開催 幕張メッセ

「東京オートサロン2017」は、13日から15日（午前9時～午後7時、最終日は5時まで）まで千葉・幕張メッセで開催。主催は東京オートサロン事務局（TAS A）、東京オートサロン実行委員会。

35回目を迎える同展は、日本の自動車メーカーや外国車インポーター、アフターパーツメーカー、カスタムショップなど417社が出展（昨

年12月1日現在。今年は、車両やパーツの展示とともにレース車両のデモ走行、ライブステージなどのイベントが行われる予定。

さらに「ZOZOMARIONスタジアム（千葉マリンスタジアム）の外周で『体感！カスタムカー同乗試乗会』も実施される。

13日は業界&報道関係者招待日（午後2時～7時は一般特別公開）、14、15日が一般公開日。入場料は13日が当日3200円、前売りが2600円。一般公開日は当日2200円（大人）、1700円（中・高校生）、前売りが1800円（大人のみ）。全日ともに小学生以下は無料（ただし、保護者同伴に限る）。

【問い合わせ】東京オートサロン事務局（03・68897・4820）

道 報 合 誌

佐々木氏（お気に入りの水彩風景画をバックに）



風景画4点を含むツアー参加者の作品計35点を展示した。

同展について佐々木氏は、「エストニアとラトビアでは、毎年6月に夏の到来を祝う『夏至祭』が行われる。街は多くの人で賑わい、至る所で伝統

音楽が流れるなど盛り上がりを見せる。今回のツアーは、その時期に合せて日程を組んだ。祭りの情景や描き手の感動を絵を通して伝えられたので

清水駅前で見板 まち歩きを開催

静岡市

静岡市建築総務課は、「平成28年度看板まち歩き」清水駅前商店街イベントを昨年12月3日午後1時半から、同市清水区の駅前銀座商店街で開催した。写真。このイベントは、屋外

はないか」と語る。

なお、6月27日（土）7月5日（日）には、スケッチツアー「佐々木清とウェールズの港町を描く」も

広告物適正化事業として企画。行政や広告主、看板製作会社、市民など約30人が参加した。

商店街で出発式が行われた後、参加者を3つのグループに分け、商店街をまち歩きした。

その後、商店街内に設けられた特設会場で「ワークショップ」を実施。グループごとに看板の意見交換を行ったほか、素

予定している。旅行代金は42万3000円から（税別）。

【問い合わせ】㈱トラベルプラン（03・3561・5050）



ウエル・ユーカーン（本社広島、横西洋一社長）は、このほどサービス業務を下の一層強化・充実させるため、東京支店を昨年12月19日に移転、1月5日から営業を開始した。

〒100-0061 東京都台東区台東4-19-9 山口ビル7階（03・5818・6900、03・5818・6900、03・5818・6900）

（㈱八島デザイン事務所（八島紀明社長）は、このほど事務所を左記に移転した。



最後に看板製作会社を代表し、アオイスオン（管理部門の荻野隆課長は、「最近、危険な看板ばかり